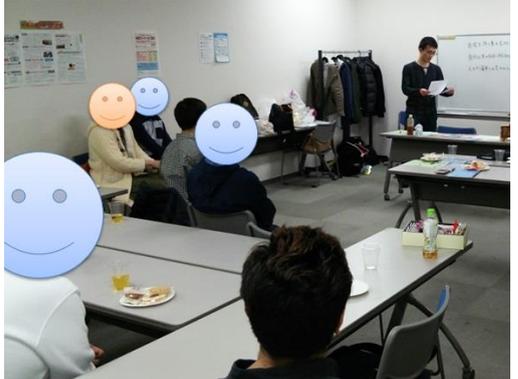
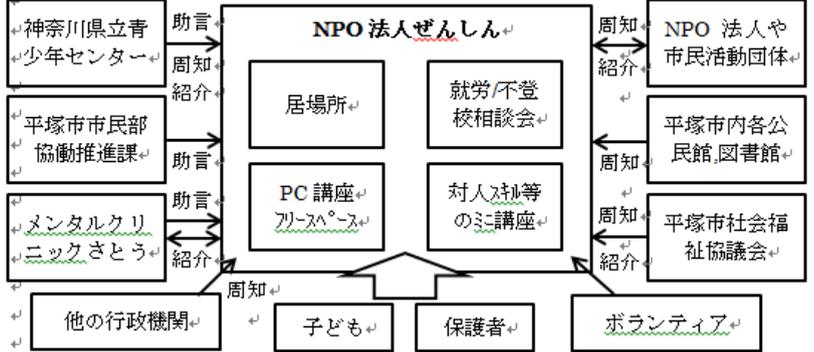


活動名	不登校等に悩む親子へ居場所提供による 自立と対人スキル支援事業	団体名称	特定非営利活動法人ぜんしん
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動の目的	①不登校・ひきこもり・社会的自立支援活動
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
ゲームで日本一になった元不登校・ひきこもり当事者が指導者となり、元当事者親子・親御様の会等の子育て・ボランティア団体等と協力して、不登校・ひきこもりの当事者親子が集う為の「居場所」を開設する。居場所では、子どもたちが受け入れやすいゲームやパソコンを活用して、地域の市民団体や行政機関等と連携し、対人不安等の問題を克服するプログラムを通して、当事者の復学・進学・就労といった自立を支援する事業を行う。		2017.9~2018.3 ①パンフレット配布は、隔月、ブログは毎月 ②毎月第2金曜日10時~16時と毎月第4土曜日13時~17時 ③毎月第2金曜日14時~	①利用促進活動ツールの作成と活用:9月から隔月にて「パンフレット」を配布。「ブログ」でも情報を提供 ②元当事者親子による相談対応・自立支援:不登校に陥っている親子らの相談に応じた。また、ゲームで遊ぶことやパソコン講座、ミニ講演会を実施し、参加者の自立に向けた支援を行った。 ③対人・コミュニケーションスキル向上支援:カードゲーム等を用いて対人不安等の克服を目指す、ミニ講座を実施した。
■活動目標	元当事者や地域の団体ほかと連携し、意見交換等が出来る居場所を提供する。また、ゲームやパソコン等を用いて対人問題等を克服するプログラムを実施し、悩みを抱える当事者の復学・進学・就労といった自立を支援する。		
■長期成果	不登校やひきこもりに陥っている子どもたちに数多く見られる、ゲームやパソコン依存の状況を解消し、復学・進学・就労といった自立に結びつける。 また、不登校等の状態にある子どもたちのコミュニケーション能力の向上を促し、自立の可能性を高める。		
■活動風景			
			
居場所(2017.10.28)、意見交換の様子		フリースペース(2018.1.12)、ゲームを楽しむ様子	
		ミニ講演会(2018.3.24)、元当事者講師のお話	
■上期の成果と下半期に向けた改善点		■実施体制	
<p><上期の成果></p> <p>居場所やフリースペースに参加する方々が定着しつつある。初めて訪れた保護者の方から「ひきこもっている人のお小遣いは、毎月いくらなんですか？」等の質問があり、子ども側の立場から「1万円です」等の回答を行う等、有益な意見交換が行われている。</p> <p>また、「対人・コミュニケーションスキル向上支援」の講座へ新たに参加することになった当事者の若者が、訪れるごとに仲間との会話が弾むようになっていく。</p> <p>アンケート結果では、「いろいろな立場、意見が聞けたのがよい」、「活発な会話を交えながらのゲームは楽しかったです」、「初対面の方とも、たくさんコミュニケーションできてよかった」等の意見を頂いている。</p> <p>この度、助成を頂いたことで、新たなゲーム類の調達に加え、支援コンテンツの開発が進んでいる。これにより、従来の居場所よりも参加者が、より過ごしやすく、会話が自然と発生しやすい雰囲気になっていると思われ、利用者にとって参加しやすい環境が整いつつある。自立に向けて気づきを得られる場づくりを更に推し進めたい。</p> <p><下期に向けた改善点></p> <p>・ミニ講演会の開催が、遅れているが、4月度も地域の市民活動団体との連携により、登壇者が決定した。ミニ講演会の担当者が、新たなゲストスピーカーを探せるように会員が皆で情報を提供する等して協力していきたい。</p>		<p>以下の通り、当初の計画に掲げた実施体制にて事業を行っている。</p>  <p>①神奈川県や平塚市の担当職員から支援活動における助言、当事者の紹介等を受ける ②地域の行政機関、NPO法人や市民活動団体等と連携し、各事業を進めていく ③医療分野の専門的な知見は、メンタルクリニックさとう佐藤五十男院長から助言を受ける</p>	
〒254-0026 (住所) 神奈川県平塚市中堂2-22 (団体名) 特定非営利活動法人ぜんしん (ホームページ) : http://ameblo.jp/zenshin-maekatsu ※ブログを公開中		助成金額 500,000円	
		助成期間 H29.9.1~H30.8.31	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。